

□ 要請番号 (JL02418B35)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ラオス	G119 卓球		個別	新規	2年	・2019/1・2019/2・ 2019/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

サバナケット県教育スポーツ局

3) 任地 (サバナケット県カイソン郡) JICA事務所の所在地 (ビエンチャン特別市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機 で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は1)県内におけるスポーツの普及・振興 2)競技大会の企画・実施 3)国内で開催される大会への選手派遣 4)スタジアムの運営・管理等を行っている。活動場所となる卓球施設は、サッカーや陸上で使用される競技場と同じ敷地内にあるが、この施設は2015年に日本の卓球関係者により配属先に寄贈された。現在配属先では、バレーボール(2019年1月まで)のJVが活動している。最近では、2018年6月まで陸上競技、柔道のJVが活動していた。また、過去には韓国からテコンドーのボランティアが派遣された実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

施設が寄贈されたのを機に、配属先は卓球の普及・振興と強化に取り組みたいと考えているが、配属先には卓球を指導ができる職員はおらず、外部から新たにコーチを雇う予算もない。現在は学校や仕事が終わる夕方17時頃から19時頃まで、中高生を中心に卓球愛好者が10名~15名ほど集まりプレーを楽しんでいるが、今後、サバナケット県において卓球が更に普及するためには、指導者が不可欠との理由から要請に至った。ボランティアには、コーチとして技術指導をすだけでなく、規律や競技マナーの指導、普及のためのイベント等を行うことも期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

1. 競技者に対して、技術指導を行う。
2. 競技者に対して、練習方法や練習メニュー作成の仕方を教える。
3. 同僚と共に普及・振興イベント(卓球大会等)を企画、実施する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

卓球場、卓球台5台、ラケット7本、ボール300個(以上は配属先の所有物で、ラケット等は選手自身も保有)

4) 配属先同僚及び活動対象者

- ・教育スポーツ局副局長(男性、55歳)
- ・事務スタッフ1名(女性、40歳)
- ・他同僚5名
- ・対象生徒数10~15名(中高校生が中心、男女)

5) 活動使用言語

ラオス語

6) 生活使用言語

ラオス語

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（競技経験）5年以上 備考：選手への指導の為

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（15～40℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】